

仕事のやりがいや 出会いの大切さ語る

甘楽中で特別授業
NPOの森さん講演

甘楽

仕事の意義について継続的に学んでいる甘楽中（瀬間一正校長）の1年生が6日、働く人の生の声を聞く特別授業を受講した。甘楽町で各国の農業研修生を受け入れているNPO法人自然塾寺子屋の森栄梨子事務局長が、現在研修中のブータン出身の3人と参加。仕事のやりがいや出会いの大切さを約100人の生徒に語った写真。

中学生の時に世界へ目が向き、ホームステイや留学などを経験した後、青年海外協力隊員としてホンジュラスで活動した森さん。仕事は「望む社会を実現できる。私にとっては志事」と表現できる」と強調した。



森さんは、ブータンの農業研究開発センターから研修に来た3人の英語を同時通訳し、同国の文化や国内総幸福量(GNH)などを解説。新井円さん(13)は「笑顔で話していて、かっこよかった。ブータンにも興味が湧いた」と話していた。

上毛新聞

2018.2.7 (水)